

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.137

萩ジオパーク推進協議会

| 2026年7月31日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

📷 @hagi_geopark



萩ジオパーク・フィールドラボ

7月18日（土）、菊ヶ浜で「砂浜ラボ」を行いました。まずは環境の違いで3つのゾーンに分けた砂浜をよく観察し、その後、ゾーンごとに生き物を採集しました。キンセンガニやコウイカなど17種74個体を採集できました。昨年の調査よりも多くの生き物を採集することができました。子どもだけでなく、大人も夢中になって生き物を探していました。



引き続いて7月20日（月・祝）には、笠山の虎ヶ崎で「溶岩ラボ」を開催しました。約1万年前の噴火でできた溶岩の磯を歩いたり泳いだりし、石のサイズや色、乾湿など環境の違いを観察した後、環境ごとに生きものを採集・記録しました。昨年度に続く調査では、新たな生物も確認され、現在集計を進めているところです。

近年、これらの海岸は昔とは様子が変わってきたといわれていますが、現状や変化を示す記録はあまりありません。調査結果は参加者へレポートとしてお届けするとともに、これらの海岸の変化を見ていく大切な基礎データとして活用していきます。

じのもんツアー ～川上藍の畑見学とたたき染め体験～

萩の山あいの川上は、かつて藍の一大産地でした。台風などで氾濫を繰り返す阿武川のそばでは秋に実る米が育てにくく、夏のうちに刈れる藍が土地の条件に合っていたのです。今では地元でもほとんど知られていない、このかつての地場産業を復活させようとしているのが、地元グループ「遠谷terra」の皆さんです。

7月12日、その現場を訪ねるツアーを遠谷terraとの共催で実施しました。集落を歩いて土地の成り立ちと藍の歴史をたどり、藍畑を見学したあとは、摘みたての生の葉を布に当てて叩く「たたき染め」を体験。皆さん時間と暑さを忘れて熱中し、世界にひとつの巾着袋を持ち帰りました。

参加者からは、まち歩きも良かったという声とともに、「地域の未来のためにという遠谷terraの皆さんの思いに心を打たれた」という声が聞かれました。土地の理にかなった営みを今の時代に成り立たせる挑戦に、ぜひご注目ください。



風穴ラボ、始動！

日本酒の熟成でも注目を集める笠山の風穴。しかしその冷たさは地元の皆さんの感覚として知られてきただけで、これまでほとんど記録されてきませんでした。そこで7月8日、笠山ジオの会のメンバーと風穴の温度調査を始めました。作戦会議のあと、みんなで1か所ずつ回り、8か所に9台の温度記録計を設置。1年を通じて温度変化を自動で記録し続けます。さっそく驚きがありました。先行設置していた2か所のデータでは、約1週間の温度変化がわずか1度以内。「風向きによって大きく変わる」という地元の皆さんの感覚と違う結果が出たのです。人の感覚と実際の現象のずれも、この調査で明らかにしたい謎のひとつになりました。風穴の冷たさを数字で示し、電気を使わない天然の冷気という大地の恵みの正体に迫る。将来的には、エネルギー問題への提言につなげることをめざしています。



日本ジオパークネットワーク通常総会に参加しました

7月2日（木）、東京の日比谷図書文化館で、認定特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク第19回通常総会が行われ、堀事務局長が出席しました。日本ジオパークネットワークは、国内のジオパークとジオパーク認定をめざす地域をサポートし、ジオパークのネットワークキングの軸となる NPO 法人です。今回の総会では、日本ジオパークネットワーク事務局より、現時点で日本ジオパークに認定されている正会員が48地域、うち11地域がユネスコ世界ジオパーク、日本ジオパークの認定を目指す準会員が4地域、計52地域（178市町村）となったこと等が報告されました。また、2025年度の事業や決算、2026年度の事業計画や予算が提出され、承認されました。

出前授業

萩光塩学院高校 地学基礎 (6月23日)

3年生との授業も4回目。今回は「マグマのはたらきが生んだ大地」。火山が生んだ身近な景色の背景にある地球の営みを、火山実験を交えながら体験的に理解してもらいました。



川上小学校 藍学習 (6月26日)

藍を学ぶ5・6年生と、川のはたらきを再現する実験をしました。大雨のたびに氾濫する川上の大地の特徴が藍の産業と深くつながっていることから、大地の営みと調和した産業の大切さを考えてもらいました。

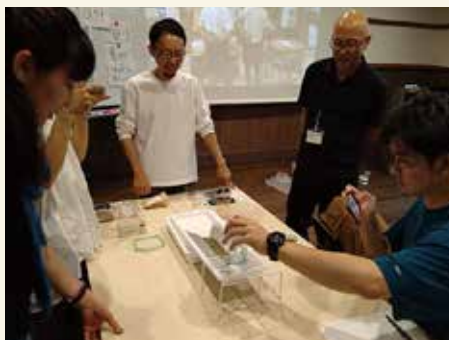
大島小中学校 (7月14日)

中学生4名と大島の集落を散策し、大地と暮らしのつながりを体感しました。注目したのは井戸。火山が生んだ地質や地形と、場所ごとにタイプが異なる井戸の関係を一緒に考えました。続く生き方講演会では、白井専門員が震災の経験を機に、専門知識を社会に組み込む道としてジオパークに飛び込んだ自身の歩みをお話しました。



第1回 活動交流会を開催しました

6月26日、萩・明倫学舎で活動交流会を開き、萩ジオパークのパートナー・サポーター6団体12名が集まりました。初回となる今回は、萩ジオパークの今年度の数々の活動を専門員から紹介。これまでもお便りやHP、SNSでお知らせしてきましたが、対面で丁寧にお話するのは初めてに近い機会です。活動の方向性や思いをより深く共有できました。あわせて活動者同士の対話の時間も設け、お互いの活動を知り合ったり、コラボの話に花が咲いたり。「次は自分たちが前に立って活動を紹介し、意見をもらいたい」という積極的な声も上がりました。次回は9月頃の予定です。



笠山山頂展望台「鳶ノ巣カフェ」営業時間延長

お盆期間(8月11日～15日)は、午前10時から午後5時(ラストオーダー午後4時30分)まで営業時間を延長します。ご当地コーヒー夏メニュー「夏みかんコールドブリュ112」「くずバー」も販売中です。ぜひお越しください。



第16回日本ジオパーク全国大会(桜島・錦江湾大会) 参加者募集

参加者へ参加費や旅費を一部補助します!

全国のジオパーク関係者が一堂に会する第16回日本ジオパーク全国大会(桜島・錦江湾大会)が11月20日(金)～21日(土)に鹿児島県鹿児島市で開催されます。本大会では、ジオパークを訪れる人々が驚きや喜び、発見、学びといった深い感動体験を得ることで、また訪れたくなる場づくりを目指し、全国の仲間と議論を深めます。萩ジオパークとしても、全国のジオパーク関係者と交流を深め、情報を得る機会として、また萩ジオパークの活動を全国に発信するためこの大会に参加する参加者を募集します。下記条件を満たす方には大会参加費や公共交通機関による交通費を一部補助します。補助を受けて参加を希望する方は8月27日(木)17時までに事務局に申し込んでください。



- 【補助内容】 大会参加費(8,000円)及び公共交通機関による交通費の1/2程度(上限:20,000円。宿泊費、自家用車、タクシー代等除く)
- 【補助条件】 萩ジオパークの一員として、分科会、ポスター発表等に参加すること。
萩ジオパーク推進協議会だよりに参加報告を寄稿すること。
- 【定員】 5名程度(申込多数の場合は抽選となる場合があります)
- 【申込・問合せ】 萩ジオパーク推進協議会まで電話(0838-21-7765)
もしくは、メール(geo@city.hagi.lg.jp)
- 【大会詳細】 大会公式HPでご確認ください。

※大会への参加申込や交通手段の確保、宿泊予約等は参加者各自で行ってください。



大会公式HP

令和8年度 萩市ジオパーク活動補助金活用団体の追加募集

- 1.募集期間 令和8年8月17日(月)まで
- 2.補助上限額 20万円
- 3.対象の事業 大地の遺産の保全、再生、維持のための活動、大地の遺産を伝えるための教育活動や普及活動、研修会等の開催など
- 4.対象者 市民活動団体、町内会や自治会などの地域住民組織で、事業終了後もジオパークの活動を継続して実施または支援する意思のある団体(構成員5人以上)
※1人以上は萩市内に住所を有する者であること
- 5.事業期間 交付決定日(9月上旬ころ)～令和9年3月19日(金)まで
- 6.申し込み・お問い合わせ 萩市ジオパーク推進課 0838-21-7765
※詳細は萩市HPをご覧ください。



萩市HP

8月～9月上旬の予定

※本紙の編集時点で協議会事務局が把握している情報のうち、協議会主催・共催の行事やジオパークの運営・推進に関わる公的な会議・取組等を中心に掲載しています。

○日本ジオパークネットワーク全地域事務局長会議 8月24日(月)～8月26日(水) 場所:栗駒山麓ジオパークビジターセンター等(宮城県栗原市) 内容:日本ジオパークネットワークの正会員・準会員地域の事務局長が集まり、同ネットワークの体制や取組に関する課題や展望について論議 主催:栗駒山麓ジオパーク推進協議会、日本ジオパークネットワーク